



生物多様性の学習（5年生）！

11月18日（月）、徳島県環境アドバイザーの方をゲストティーチャーとしてお招きし、「生物多様性の学習」の中の「SDGs」について、5年生が詳しく学習しました。（個人情報として、ホームページには名前は控えさせていただきます。）

アドバイザーの方からは、まず、「SDGs」をもっと身近にというお話をして頂きました。SDGsとは、「持続可能な開発目標」として、将来の世代の欲求も満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発ということです。つまり、「だれもおきざりにしない、より良い世界へ」ということをめざしていることや、そのためには、世界中が17個の共通目標を決め、2030年までを達成期限として取組をすすめているということについて、スライドを使いながら分かりやすくお話をして頂きました。

次に、世界と繋がっている私たちの生活として「食糧自給率」や「食品ロスの問題」、「サステナブル・ラベル」、「エネルギー問題」、「3R」について学ぶことができました。さらに、「アップサイクル」という新しい取組について教えて頂きました。「リサイクル」は、廃棄物を分解・融解して原料や燃料として有効活用する取組ですが、「アップサイクル」とは、「廃棄物や不要品をそのまま活かし、新しい価値をつけた製品にするという考えだそうです。詳しくは、5年生に聞いてみてください。

また、生物多様性については、次のような詳しいお話もして頂きました。

< 「生物多様性の危機」についてのお話です。 >

☆人との関わりが原因となっているものとして、4つの危機があること

- 第1の危機として、開発などの人間の活動による危機があること。
- 第2の危機として、自然に対する働きかけの縮小による危機があること。
- 第3の危機として、人間により持ち込まれたものによる危機があること。
- 第4の危機として、地球温暖化による危機があること。

※今後も、「自然豊かな加茂谷の里山のこと」や「自分たちがどのように環境問題に関わっていくのか」等についての「生物多様性について」の出前授業でお話をして頂く予定です。



【徳島県環境アドバイザーの〇〇さんには、「SDGs」、「生物多様性について」たくさん教えて頂きありがとうございました。】